

兵庫県警察では、昨年3月に改定された「兵庫県自転車活用推進計画」に基づき、諸対策を推進しているところです。

この度、2024年までの5年間に、県内において自転車に乗った小学生や中学生、それに高校生が死亡したり、負傷したりした事故について分析したところ、月別の死亡・負傷者数の最多は6月で、520人に上ります。

年始から気候が暖かくなるにつれて、こどもの自転車による交通事故死傷者数は増加傾向にあり、6月にピークを迎えるのですが、これは4月から通学等で使い始め、慣れた時期に運転がおろそかになっている可能性があります。

また、今年は、各世代別の自転車事故の特徴について、発生時間、曜日、天候、通行目的別のグラフも添付しております。

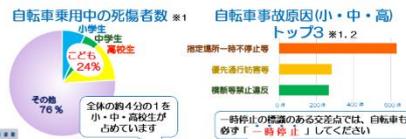
保護者の皆様には、こどもの自転車事故が最多となる6月を迎えるに当たり、こどもの自転車による交通事故を防止するため、これを機会に、ご家庭などで自転車の交通ルールやマナーについて話し合いました。

(問合せ先：兵庫県警察本部 交通部 交通企画課 自転車対策係 078-341-7441)

↓「6月こどもの自転車事故最多」の詳しいチラシはこちら

6月 こどもの自転車事故最多

過去5年間の県内統計で、こどもの自転車による人身交通事故が、6月に最多となることが分かっています。
4月から進学等で使い始め、慣れた時期に運転がおろそかになっている可能性があります。これを機会に、自転車のルールやマナーについて、ご家庭まで話し合いましょう。



中学生は私用時の自転車事故に注意!

中学生の自転車による人身交通事故は、平日の週の後半、晴、朝の7時と夕方4～5時の時間帯に多くなることが分かっています。
また、通行目的別で見ると訪問に多いが登下校もなっています。ヘルメット着用率は、見直しが見えますが、通行目的別に見てみると、私用中の着用率は9.8%と進学時の60.9%に比べ大きく下がっています。



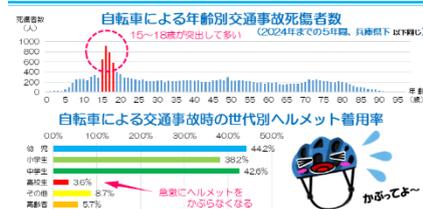
小学生は私用時の自転車事故に注意!

小学生の自転車による人身交通事故は、平日の週の前半、晴、夕方の4時の時間帯に多くなることが分かっています。
また、通行目的別で見ると友達の家に行くなどの訪問が多くなっています。交差点ではしっかり安全を確認し、「止まれ」の標識があるときは、必ず一時停止するなど、ヘルメットをかぶって安全に運転しましょう!



高校生は通学時の自転車事故に注意!

高校生の自転車による人身交通事故は、平日、晴、朝の7～8時の時間帯に多数を占めることが分かっています。
また、年齢別で見ると15～18歳の高校生世代の死傷者数が突出しているにもかかわらず、そのヘルメット着用率は、高校生から急激に下がる傾向にあります。心と時間に余裕を持って、ヘルメットをかぶり、通学しよう!



自転車安全利用 五則を守ろう!

- 車道が原則、左側を通行**
歩道は例外、歩行者を優先
自転車は車の流れなので、車道を走らなくてはいけません。歩道は歩行者を優先して通行させます。ただし、例外として、歩道を走っていい場合があります。
- 夜間はライトを点灯**
ライトを点灯すると、車の運転手や歩行者に気づかせることができ、他の車と適切な距離を確保することによって安全です。
- 飲酒運転は禁止**
自転車の運転中、飲酒は厳禁です。飲酒運転は交通事故の原因になります。飲酒運転は厳禁です。
- ヘルメットを着用**
2024年4月から、全ての自転車利用者に対し、安全なヘルメットを着用することを義務づけられています。ヘルメットは必ず安全基準を満たしたヘルメットを着用してください。ヘルメットを着用することで、万一の事故発生時に、頭部を保護し、怪我を軽減することができます。

乗車用 ヘルメット を着用しよう

- 全ての自転車利用者に、ヘルメット着用が努力義務化
- 安全が確認されたマーク表示のあるヘルメットを使用

JISマーク SGマーク JCF公認マーク JCF推奨マーク

CEマーク (EN1078)、CPSCマークなど、他にも安全基準が存在します

兵庫県警本部 交通部 交通企画課